

<白金標準、ヴァルテラ CEO は現状からさらに 50%上昇を示唆・・・>



(出所：オアシス)

FOMC で一時利下げ要因を織り込み、利益確定の動きを示すもダウ平均や S&P500、ナスダックなど株式市場は史上最高値を更新し続けており、景気商品の白金価格を押し上げる動きに結び付いている。特に WPIC 第 2 四半期 PGM 需給報告で、供給不足は 30 トンから 26 トンへ改善したが、依然と供給不足を補う事は難しい情勢であり、ヴァルテラ（旧アングロ・アメリカ・プラチナ）CEO は、世界のプラチナ族金属（PGM）一次生産量が今世紀末までに最大 20%減少する可能性があり、供給不足が拡大すると述べている。特に世界のプラチナ供給量の 70%以上を占める南アフリカの鉱山会社は、金属価格が暴落した過去 2 年間に不採算生産を削減してきた。ただ最近のプラチナ価格上昇は鉱山会社に安堵をもたらしたが、新規生産を支えるのに必要な水準には依然達していない。そのため新規グリーンフィールド生産が稼働し約 10%のリターンを得るインセンティブを得るには、PGM バスケット価格が現状からさらに 50%上昇し、その水準を維持する必要があると述べている。

そのため白金標準先物は、6100 円を下回る事無く、再度 6284 円まで高値を追い続けており、今週は再度 6342 円を試す可能性は高まると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** が重なり維持している。また RCI では **短期** が上昇し、**長期** は高値を維持している。そのため週足が指数平滑移動平均線を上回るなど強気を維持した状況に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,955,000 円(2025 年 9 月 22 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 84,480 円(2025 年 9 月 22 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>